

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和5年2月13日

事業所名：ぼのぼの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方のご意見	評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7	0	0	空間が広すぎる場合があるのでお子さんに合わせてよりよい空間を提供していきたい。		
	2 職員の適切な配置	7	0	0	配置条件の職員数は満たしているので各職員のスキルアップを目指していく。	送迎療育の際に、どれくらいの人員配置で行われているのか分からない状態です。	ご意見ありがとうございます。ぼのぼのの人員配置につきましては、2名以上の職員の配置をしております。利用していただける人数によりますが、毎回2～3人の職員で療育にあたっております。ちなみに配置基準をいたしましては5人のお子さんに対して1人以上の配置が義務付けられています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	0	0	建物が古く修繕も必要な箇所がある。その都度使いやすいように改善していきたいと考えている。		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	0	0	毎日の清掃に関しては活動前に行なっている	教室の床が少し汚れていました。靴下が黒くなります。	不十分な点があったので再度清掃について見直していきます
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	7	0	0	事業所内での意見を活発にさせていき、役職等関係なく、目標に向かってチームで臨んでいきたい		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	7	0	0	第三者の評価、業務改善など実施していないので、受けってくれる方がいれば実施していきたいと考えている		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7	0	0	事業所内研修、外部研修等活発化させることで職員スキルの向上を目指していきたい。		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方のご意見	評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ			
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	1	1	5	計画作成者には計画の見立て、目的を計画に落とし込めるように指導することで、個別支援の充実を図っていく。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	0	0	計画作成者には計画の見立て、目的を計画に落とし込めるように指導することで、個別支援の充実を図っていく。	
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0	作成担当が同じ水準で計画が作成できるように今後も指導を行っていく。	
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	0	0	日々の活動の中でしっかりと課題点を見定め、振り返りを通じて各職員への改善意識を高めていく。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	7	0	0	チーム全体で考えていけるような雰囲気作りと、全員参画の意識を持てるようにしていく。	
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	0	0	計画案の検討、見直し、子どもの成長に合わせた活動等を確認しながら活動内容を決めていく	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	0	0	必要に応じて支援内容を考えていく	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6	1	0	担当職員には開始前のミーティングを指示している。継続しているかの確認をしていく。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	2	1	担当職員には終了後の振り返りを指示している。継続しているか確認していく。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	7	0	0	記録に記載する見立てを伝えたり、学習する機会を設けている。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7	0	0	計画終了日に合わせてモニタリングの作成、計画の見直しを行っている	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方のご意見	評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ			
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	0	2	5	サービス担当者会議の開催自体が難しいと思われる。相談支援事業所と連携しながらサービス担当者会議の開催を提案していく		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	2	5	0	担当職員、訪問支援員に関しては各保育園等、学校等と情報共有をしながら支援を行っている。ただ、関りの無い職員もいるので、職員間での共通理解も今後進めていきたい。		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	2	5	0	児童発達支援管理責任者を中心にやっている。知らない職員もいるので進捗状況については知らせていく必要があると感じた。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	3	0	保育園・医療・学校(就学前)などと連携しながら情報共有を行っている。また関係機関が開催する研修会には参加している。		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	1	4	現在は並行通園のお子さんがほとんどである為、保育園、幼稚園等の交流会の必要はないと考えている。今後未就園のお子さんが増えてきたら交流会や体験入園も考える。		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	3	2	一部地域の方とは話し合いながら運営を進めている。地域との交流に関しては今後の課題でもある。		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方のご意見	評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ			
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	2	5	0	契約時や随時説明を行っている。分かりにくい部分などはその都度お答えして行っている。		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	2	5	0	面談に来て頂いている保護者の方には時間をかけて説明が出来ている。ぜひ個人面談に参加して欲しい。		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	4	0	療育時や終わった時に保護者さんとの振り返りでお伝え出来る見立て等は話させてもらっている。ペアトレなど必要であれば実施していきたいのでまたご意見を頂きたい。		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	2	0	療育の様子を通じて保護者の方への見立ての説明と成長へのステップについて話している		
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	0	0	その都度保護者さんの疑問や質問等にお答え出来ている。		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	0	6	通園事業所である為、ぼのぼの自体に保護者会の設置よていがないので今後保護者さんからの要望があれば設置を検討していく。		
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	0	0	苦情等あった場合はその都度対応している。苦情があった場合は広報に苦情に関してのお知らせは記載している。		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7	0	0	視覚支援やスケジュール等でお子さんには知らせるようにしている。また保護者さんには連絡帳等を通じて発信をしている。		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7	0	0	年4回広報誌を発行している		
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	7	0	0	適切な場所に保管し管理している。また各職員にも守秘義務の徹底を指示している		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方のご意見	評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ			
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	0	0	園内に各マニュアルの設置を行っている。保護者さんへの周知は十分でなかったので再度周知をしていく。		
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7	0	0	年2回以上各種訓練を実施している		
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7	0	0	虐待防止委員会の設置を行い、虐待についての検討を毎月している。また毎年1回全職員を対象に研修会を実施している。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7	0	0	身体拘束に関しては契約時に説明を行っている。身体拘束を必要とした場合に関しては、状況と対応を保護者に報告を行っている。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	7	0	0	お子さんのフェースシート、アセスメントシートを元に、おやつ作りの活動時にはアレルギーに十分配慮し、除去する等の対応を行っている。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	0	0	リスク委員会を中心にヒヤリハットの提出を各職員に指示。月に一回取りまとめをし振り返りと検討を行っている。		